

## 「ものづくり都市・京都の発展に繋がる京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用案(素案)」に関する市民意見募集結果

### 1 募集期間

令和元年12月20日(金)～令和2年1月30日(木)

### 2 周知方法

ホームページ掲載，市民しんぶん掲載（全市版，1月1日号），市民意見募集冊子の配布（市役所案内所，各区役所・支所，地下鉄各駅，京都商工会議所等の経済団体，市内産業支援機関等），らくなん進都整備推進協議会等での説明 等

### 3 募集結果

#### (1) 意見数

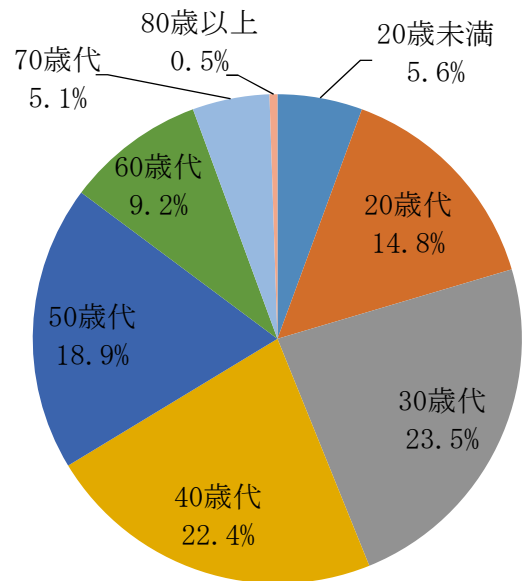
意見者数：196人 意見総数：299件

#### (2) 御意見をいただいた方の属性

※ 表示単位未満を端数処理しているため，合計と一致しない場合がある。

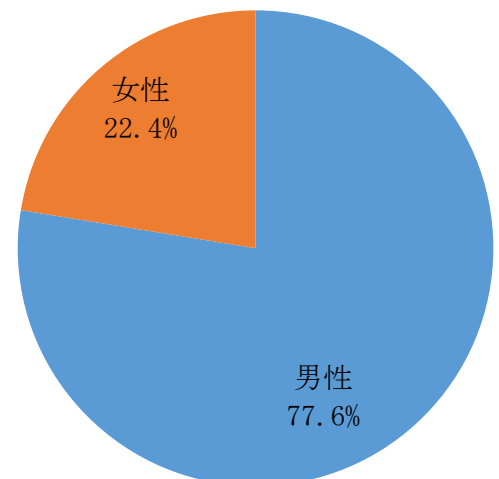
#### ア 年齢

年代	人数	割合
20歳未満	11人	5.6%
20歳代	29人	14.8%
30歳代	46人	23.5%
40歳代	44人	22.4%
50歳代	37人	18.9%
60歳代	18人	9.2%
70歳代	10人	5.1%
80歳以上	1人	0.5%
合計	196人	100.0%



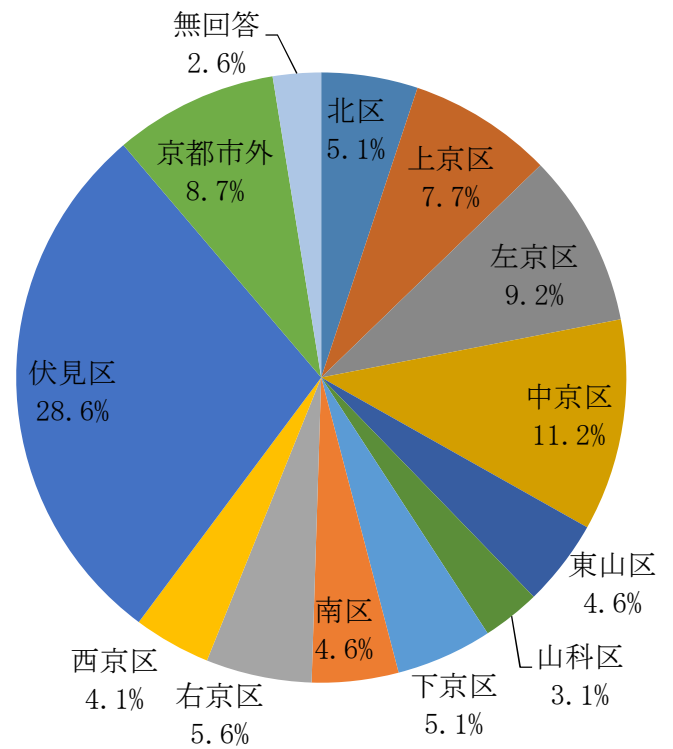
#### イ 性別

性別	人数	割合
男性	152人	77.6%
女性	44人	22.4%
合計	196人	100.0%



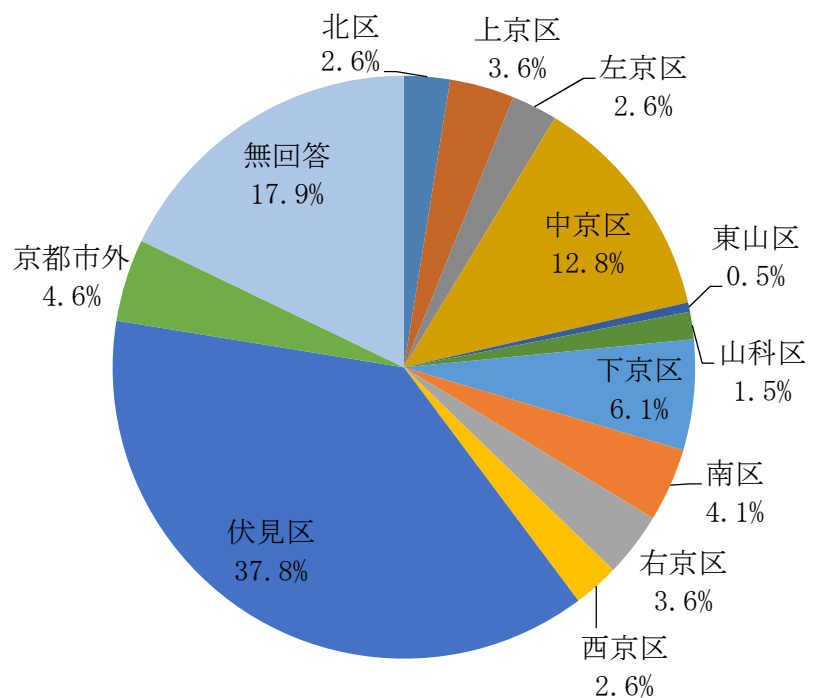
## ウ 居住地

行政区等	人数	割合
北 区	10人	5.1%
上京区	15人	7.7%
左京区	18人	9.2%
中京区	22人	11.2%
東山区	9人	4.6%
山科区	6人	3.1%
下京区	10人	5.1%
南 区	9人	4.6%
右京区	11人	5.6%
西京区	8人	4.1%
伏見区	56人	28.6%
市 外	17人	8.7%
無回答	5人	2.6%
合計	196人	100.0%



## エ 勤務地

行政区等	人数	割合
北 区	5人	2.6%
上京区	7人	3.6%
左京区	5人	2.6%
中京区	25人	12.8%
東山区	1人	0.5%
山科区	3人	1.5%
下京区	12人	6.1%
南 区	8人	4.1%
右京区	7人	3.6%
西京区	5人	2.6%
伏見区	74人	37.8%
市 外	9人	4.6%
無回答	35人	17.9%
合計	196人	100.0%



(3) 御意見の内訳

区分	件数
1 活用案の策定の目的	105件
2 らくなん進都のまちづくりの状況	27件
3 両施設敷地の活用案（活用の方向性・導入機能・施設の展開例）	154件
4 その他	13件
合計	299件

(4) 御意見の区分

A 活用案に反映するもの	3件
B 活用案（素案）に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの	179件
C 活用案の実現に向けて参考にするもの	79件
D らくなん進都を含む市南部地域のまちづくりの推進に当たって参考にするもの	24件
E その他、市政運営等で参考にするもの	14件
合計	299件

(5) 主な意見

全体的な傾向としては、

ア 国有地の有効活用の取組や活用案（素案）に賛同される方、両施設敷地の具体的な活用案を提案・要望される方など、**全体の約9割の方が肯定的な意見**でした。

イ 両施設敷地の活用や活用案策定などに**否定的な方が約1割**おられました。

※ いずれも割合は人数ベース

<全般>

**肯定的な意見**

- ① まとまった土地の少ない京都市内において、国有地の有効活用は必要なことであり賛成する。
- ② 両施設の土地は、便利な場所にあり、企業が集積している地域なのでポテンシャルは高いと思う。京都の発展に資する活用案全般に賛成である。粘り強く国に要望して欲しい。
- ③ 活用案は京都だけでなく、より広域的な視点で考えてほしい。
- ④ 交通至便な場所であり、伏見・京都のシンボルとなるような有効活用を進めてほしい。
- ⑤ 敷地の有効活用ができればよい。経済が発展し、市が活性化し、人口増になればよい。
- ⑥ 産業用地としての活用、ものづくり企業のための活用を望む。
- ⑦ 起業希望者や企業の成長をサポートする施設など、企業を支援する施設ができれば良い。

## 否定的な意見

- ① 京都拘置所の移転は問題ないが、京都運輸支局は近隣に自動車関係の企業が集中しており、移転が効果的なのか懐疑的に思えるため、移転に反対する。
- ② 京都運輸支局は、多くの人が便利に利用する行政機関であり、現時点では、敷地活用の施策より優先されるべきである。移転する施設ではない。
- ③ 移転をはじめとした活用案を作成するのであれば、移転先を決めるべきである。

## その他

- ① 京都南部地域は京都の玄関口であり、この地域の発展無しで、京都のまちづくりの進展はないが、この地域の開発は進んでいない。南北の鉄道はあるが、東西の公共交通が不便なので、公共交通の充実が必要である。
- ② 京都駅以南は高さや容積率、景観の制限をもっと緩和したほうがよい。

## <両敷地の具体的な活用案>

- ① 活用案（素案）で例示している機能・施設に対する意見  
活用の大きな方向性として、産業用地としての活用を望む意見が最も多く、具体的には、オフィスとしての活用や、ものづくり企業のため、あるいは、起業を支援するための活用、雇用創出に向けた活用を望む意見が複数ありました。  
また、活用にあたっては、両敷地は高さ規制が無く、緩和されている容積率を目一杯活用すべきであるとの意見も複数ありました。  
このほか、地元・伏見や京都の活性化に繋がる活用を望む意見も複数ありました。
- ② 活用案（素案）で例示している機能・施設以外で寄せられた主な機能・施設
  - ・ 住宅地
  - ・ 宿泊施設
  - ・ 商業施設
  - ・ クラウドファンディング運営企業